

2023.11 第7回定例会

# 室戸市議会だより

第111号  
令和5年11月1日発行



発行/室戸市議会  
編集/室戸市議会  
議会だより編集委員会  
住所/〒781-7185  
高知県室戸市浮津25-1  
連絡先/0887-22-5140  
題字/谷 通子

## 祝室戸市敬老会



## 室戸市敬老会

**9月議会  
質問者**

久保田 浩  
小 椋 利 廣  
池 田 教 子  
田 淵 信 量  
澤 山 保 太郎  
竹 中 真 智子  
脇 本 健 樹

### 令和5年9月第7回室戸市議会定例会 会期・日程

月 日	曜日	会の種別	摘 要	月 日	曜日	会の種別	摘 要
9月8日	金	本会議	開会・提案理由の説明	9月19日	火	休 会	事務整理
9月9日	土	休 会		9月20日	水	休 会	事務整理
9月10日	日	休 会		9月21日	木	休 会	事務整理
9月11日	月	本会議	一般質問	9月22日	金	休 会	事務整理
9月12日	火	本会議	一般質問	9月23日	土	休 会	秋分の日
9月13日	水	本会議	一般質問	9月24日	日	休 会	
9月14日	木	本会議	大綱質疑・委員会付託	9月25日	月	休 会	事務整理
9月15日	金	休 会	委員会	9月26日	火	休 会	事務整理
9月16日	土	休 会		9月27日	水	休 会	事務整理
9月17日	日	休 会		9月28日	木	本会議	委員長報告・討論・ 表決・閉会
9月18日	月	休 会	敬老の日				

## 第7回定例会 議決結果一覧表

議案番号	件名	議決年月日	結果
議案第1号	監査委員の選任について	令和5年9月8日	同意
議案第2号	室戸市一般職の職員の給与に関する条例及び室戸市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	令和5年9月28日	原案可決
議案第3号	室戸市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	令和5年9月28日	原案可決
議案第4号	室戸市福祉医療費助成に関する条例の一部改正について	令和5年9月28日	原案可決
議案第5号	室戸市火災予防条例の一部改正について	令和5年9月28日	原案可決
議案第6号	令和5年度室戸市一般会計補正予算（第6号）について	令和5年9月28日	原案可決
議案第7号	令和5年度室戸市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について	令和5年9月28日	原案可決
議案第8号	令和5年度室戸市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について	令和5年9月28日	原案可決
議案第9号	高知県広域食肉センター事務組合の解散について	令和5年9月28日	原案可決
議案第10号	高知県広域食肉センター事務組合の解散に伴う事務承継について	令和5年9月28日	原案可決
議案第11号	令和5年度室戸市一般会計補正予算（第7号）について	令和5年9月28日	原案否決
議案第12号	室戸市庁舎建設事業基金条例の一部改正について	令和5年9月28日	原案可決
請願第1号	企業立地促進補助金支給対象企業への視察の請願	令和5年9月28日	不採択



# 賛否の分かれた議案等・議案の説明

## 第7回定例会 賛否の分かれた議案等

番号	件名	久保田 浩	池田 教子	河本 竜二	竹中真智子	田淵 信量	竹中多津美	澤山保太郎	亀井 賢夫	小椋 利廣	脇本 健樹	山本 賢誓	町田 又一	議決結果
議案第2号	室戸市一般職の職員の給与に関する条例及び室戸市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		原案可決 (賛10、反1)
議案第4号	室戸市福祉医療費助成に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		原案可決 (賛10、反1)
議案第6号	令和5年度室戸市一般会計補正予算(第6号)について	×	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	議長	原案可決 (賛7、反4)
議案第7号	令和5年度室戸市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		原案可決 (賛10、反1)
議案第8号	令和5年度室戸市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		原案可決 (賛10、反1)
議案第10号	高知県広域食肉センター事務組合の解散に伴う事務承継について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		原案可決 (賛10、反1)
議案第11号	令和5年度室戸市一般会計補正予算(第7号)について	×	○	○	×	×	○	×	○	×	○	×		原案否決 (賛5、反6)
請願第1号	企業立地促進補助金支給対象企業への視察の請願	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×		不採択 (賛4、反6)

## 議案の説明

### 議案第6号関係 ◎令和5年度室戸市一般会計補正予算(第6号)について

歳入歳出予算はそれぞれ1億5,685万7千円を追加し、総額161億121万8千円とするものです。

歳出の主なものは、本庁舎耐震補強・改修工事等概算費用算出委託料2,382万6千円、介護基盤整備等事業費補助金3,660万円、スジアオノリ等養殖施設屋根改修工事費1,710万5千円、住宅耐震改修工事費補助金1,300万円の追加等です。繰越明許費は1件で、本庁舎耐震補強・改修工事等概算費用算出委託業務2,382万6千円です。

地方債の補正は、過疎対策事業債、公共事業等債、公共土木施設現年単独災害復旧事業債、農地等現年補助災害復旧事業債及び臨時財政対策債について、事業に伴う限度額の変更を行うものです。

### 議案第7号関係 ◎令和5年度室戸市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出予算はそれぞれ134千円を追加し、総額24億2,145万9千円とするものです。事業勘定におきまして、標準報酬月額の時決定等に伴い職員の人件費について補正するものです。

### 議案第8号関係 ◎令和5年度室戸市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について

歳入歳出予算はそれぞれ1億257万2千円を追加し、総額25億3,508万9千円とするものです。令和4年度介護給付費実績の確定に伴う国庫負担金返還金等について補正するものです。

### 議案第11号関係 ◎令和5年度室戸市一般会計補正予算(第7号)について

歳入歳出予算はそれぞれ1,872万5千円を追加し、総額161億1,994万3千円とするものです。本庁舎移転建替工事概算費用算出委託料及び繰越明許費の補正です。

# 6月定例会

《一般質問とその答弁》

## 久保田 浩 議員

### ☆室戸市の財政状況について

**問** 当初予算について。当市はふるさと納税の寄付金を一旦、基金に積み立て、基金を取り崩して、返礼品や事務費に充当するよう予算の組み方をしているが、同じ寄付金を2度カウントすることになり、予算総額が大きくなる。安芸市のように寄付金で返礼品等を支払う方式にするべきではないか聞く。

**答** 県内11市のうち、ふるさと納税の予算計上方法について調査したところ、当市と同様に一旦、寄付金全額を基金に積み立てているのが6市、安芸市のように返礼品や事務費を当年度に充当し、残額を積み立てている市が5市という状況である。現在のところ特段問題もないので直ちに見直す必要性はないと考えている。今後は、他市の動向も見ながら検討していきたいと考えている。



ふるさと納税

**問** 公債費・市債について。令和3年度末で起債(借金)残高が142億8944万円と市長が就任して、13億5652万円増加している。今年度の予算でも、起債額が返済額を上回っている。起債を減らし、逆に繰り上げ償還等を行うべきではないか聞く。

**答** 市債については、将来の負担を見据えて慎重に発行し、今後においても基本的には発行額が償還額を上回らないことを目標としている。繰り上げ償還については、繰り上げ償還に伴う損失に対する補償金の支払いが必要となるため、起債残高を減らす有効な方法であるが慎重に検討していく。

**問** 第2室戸市財政運営計画の中の職員数について。令和元年度253名から令和

6年度270名と正職員を増やす計画になっている。人口減少が進む他の自治体とは、逆の方向に進んでいるのではないかと。正職員数を削減し、会計年度任用職員数についても適宜、見直す方が人件費の抑制にもつながるのではないかと聞く。

**答** 人口規模や産業構造が類似した団体や高知県内の各市との職員数の比較結果を見ると人口当たりの職員数が他市と比較して多くなっている。人口減少が進んでいる状況においては、職員数を削減しなければならぬと考えている。来年度改定予定の財政運営計画の中でも職員数の削減等について議論を行ったうえで位置づけ、中・長期的な視点で計画的に取り組んでいきたいと考えている。

### ☆室戸市の人事行政の運営状況について

**問** 職員の年齢別構成の状況について。当市は、平成初期に職員の採用が少なかったことから53歳から59歳の職員が少なく、国や他の類似団体と比べて、平均年齢が38・8歳と若く、今後も人件費の増加が見込まれて

いる。また、10数年もすれば、まとまった人数の退職者が出るのが想定される。「室戸市職員退職基金」等を設立し、積み立てていく必要があると思われるが、聞く。

**答** 今後想定される退職者数の増加については認識している。財政調整積立金の設置管理条例第6条第6号に「職員の退職手当を支給するため、その財源に充てるときは、基金の全部又は一部を処分することができる」と規定されており、財源となる財政調整積立金の残高も増加傾向にあることから現時点においては直ちに基金を設立する必要性はないものと考えている。

## 小椋利廣 議員

### ☆市長の政治姿勢について

**問** 住民投票で、約70%の市民が反対する庁舎新築・移転は断念して現庁舎の耐震補強工事と改修工事にどのような計画で取り組むのか聞く。

**答** 本庁舎の整備方針は現時

点で耐震補強・改修工事か、移転建て替えか決定しておらず、基本設計及び概算工事費の算出の業務委託で算出された費用を判断材料として、令和6年9月定例会を目的に庁舎の整備方針を決定したい。

**問** 正職員中、室戸市外からの通勤者は何名か。地方交付税や市の財政状況、緊急非常事態時の管理体制等職員の綱紀粛正について聞く。

**答** 現在、市外からの通勤者は33名で、財政状況への影響は普通交付税や市税の減少、市内経済の減収があるが、市内に居住する市外出身者もおり、市内居住の協力を求めるとともに、人口減少の歯止めと防災訓練による危機管理体制の構築、職員の資質向上に努める。

**問** 室戸市の人口増加と子ども子育て支援の取り組みを聞く。

**答** 令和5年度から、保育料や小・中学校の給食費の無償化を図り、今議会に、乳幼児等医療費助成の対象年齢を15歳から18歳に引き上げる議案を提出している。地域全体で子育て世帯を応援する室戸市となって人口増加に取り組む。

**問** 小・中学校の統廃合と室戸中学校の高台移転計画、室戸小学校の不適切な指導について聞く。

**答** 本年5月に策定した「室戸市保育所及び小中学校適正規模・適正配置実施計画」で中学校の施設整備が予定より2年遅れる事になり段階的な統合ではなく、令和10年度に4つの中学校を統合して開校する計画や実施計画案について地域説明会や保護者との意見交換会を開催し、様々な意見を交換、9月も参加できなかった方に多くの意見を聞き、適正規模・適正配置の方向性を決める。新しい室戸中学校の移転先は候補地資料作成委託業務の報告書が提出されて候補地選定委員会で検討を行うので、令和6年2月頃を予定。元小学校の統合計画については被災時の安全確保が難しく、令和7年度から室戸小学校に統合計画。室戸小学校の不適切な指導について、臨時校長会を開催し、今後二度と行き過ぎた指導がないよう指示を行い、市教育委員会への報告の徹底を指示、学校の信頼回復に努める。

**問** 大きく人口が減少していく中で、経済の活性化や若

い人達の移住・定住対策、電気・ガス・ガソリンのエネルギー対策、物価高騰による生活支援、産業の振興策や介護者不足による高齢化対策等、今後の市政運営の取り組みを聞く。

**答** あらゆる分野に全力で取り組んでいるが、これまで進めてきた取り組みの事業内容の見直しや、国や県などの制度を最大限活用しながら効果的な取り組みを検討する。介護人材不足は、県内でも深刻な問題であり、県を含めた関係機関で意見交換や協議を重ねている。産業振興の取り組みについては、一次産業をはじめとする市内事業者の厳しい状況は理解している。ふるさと室戸応援寄附金事業で、自治体間の返礼品競争が激しくなっている状況なので、返礼品協力事業者との連携を強化し返礼品の魅力化を図る。



池田教子 議員

★マイナンバー制度について

**問** マイナンバー制度は2016年から運用が始まり、国内全ての住民に12桁の番号が割り当てられ、生まれ

たばかりの赤ちゃんにも自動的に附番される。現在マイナンバーは社会保障や税・災害対策の分野で活用され、健康保険証や医療費・児童手当など、計29項目の情報もひも付けられている。このため政府は、カードをデジタル社会に必要なツールとして普及を進めている。本市においても昨年は、地方創生臨時交付金を使って

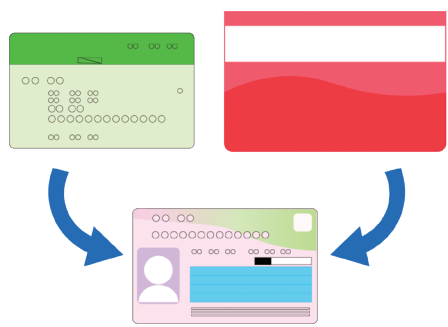
室戸市独自のマイナンバーカード普及促進事業に取り組んだ。併せて、国のマイナポイント事業により7月以降たくさん市民の皆様が申請に來られ、本市もマイナンバーカードの普及が促進されたと思う。現在のマイナンバーカードの普及率を聞く。

**答** 直近8月末時点で75.93%県内11市中4番目に高い交付率となっている。交付率向上に向け乳幼児健診会

場において、検診に來られた乳幼児等についても会場での申請が出来るように対応していく。

**問** ニュースや新聞などで報道されているマイナンバーカードを巡るトラブルのほとんどが、情報ひも付けの際のシステムの不具合や人為的な入力ミスなどが原因とされている。本市においてこのようなトラブルなどの事例が発生していないか聞く。

**答** 現時点でトラブルなどの報告は受けていないが、先日の高知新聞において「生活保護の項目でマイナンバーの点検が必要」との報道がなされており、担当課において確認を進めているところである。



★農福連携について

**問** 農福連携は、農業と福祉が連携して障がい者や引きこもり等、生きづらさを抱えている方の就労を支援することで、農業分野での活躍を通じて自信や生きがいをつくり、社会参画を実現する取り組みである。本市においてもぜひ取り組みべきであると考えますが、取り組み考えがあるか聞く。

**答** 本市においても必要な施策であると考え準備段階ではあるが取り組みを開始している。本年度は「室戸市障害者自立支援協議会就労支援部会」において今後の取り組み方針や事業計画について意見交換や協議をおこなっている。

**問** 本市が取り組むとした際の問題点として、どのようなことが考えられるか聞く。

**答** 障害や障がい者への理解、農福連携についての周知を促進することが重要となる。受け皿となる農家の方だけでなく、漁業・製造業・一次産業の方々にもご参画頂けるよう、サミットや就労体験会等の開催、個別の協力依頼など庁内及び関係機関と連携しながら取り組んでいく。

☆陶芸教室の陶芸窯について

**問** 本市において65歳以上の方の介護予防、65歳未満の方には生涯学習として月3回の陶芸教室が行われている。現在使用している窯の老朽化が進んでいる。この今にも壊れそうな陶芸窯の改修が早急にできないか聞く。

**答** 専門業者に点検を依頼したところ、耐用年数は経過しており所々腐食が進んでいるが通電検査において問題はなく、現時点での熱線出力の低下はないとの結果である。釜の状態を注視しながら、新しい陶芸窯購入の予算措置も検討していく。

田淵信量 議員

☆室戸市役所庁舎について

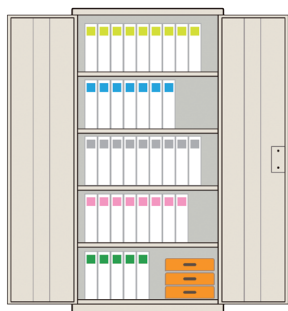
**問** 住民投票の結果が示す根本的な問題を解決しない限り、住民投票の結果である民意を尊重すべきであると考え。その根本的な問題を解決できるのか市長の考えを聞く。

**答** 住民投票以降、市議会等との様々な論議を進める中でこの庁舎を耐震補強・改修工事を進めるべきか、それとも津波の来ない高台へ移転建て替えすべきか6月と7月に開催した意見交換会に議員の皆様から様々なご意見やご提案をいただいた。それらの意見を踏まえ、耐震補強・改修工事等で進める場合においては、当初想定していなかった免震装置の設置や新西庁舎の整備などといった工事が追加となり、庁舎移転建て替えの場合においては、将来を見通した適切な規模による面積算定等が必要となるなど住民投票を行った時よりも整備内容が大きく変わっている状況にある。総合的に判断をするための判断材料として、基本設計や概算費用の算出にかかる委託料について9月議会に予算を計上した。委託業務完了後において、調査結果を踏まえたメリット・デメリットの内容を検討し、財政の中長期的な計画も見据えたうえで、本庁舎の整備方針を判断したいと考えている。

**問** 文書管理について、本庁舎の地震対策と合わせ、浸水区域外への移設等について

では検討を行っていくとの答弁だったが、現在までにその取り組みが出来ているのか聞く。

**答** 地下にある書庫の文書については、永年保存の必要がある文書を保有する各課を対象にヒアリングを実施し、優先順位をつけ、4階の書庫に移設を行っており、現在例規の制定及び改廃に関する文書、農地法関連文書及び文化財保存に関する文書等を4階の書庫にて保管している。



☆室戸市企業立地促進事業費補助金制度について

**問** 令和5年度、当初予算や補正予算には、この事業費予算が組まれていないが、この制度を継続しないのか、他に理由があるか聞く。

**答** 議会での一般質問などにおいて、議員の方々から補助金交付要綱の内容や補助

額などについて様々な意見をいただいている。これらの意見を踏まえながら、現在補助金交付要綱の見直しを検討しているところである。

☆室戸市立市民図書館について

**問** 図書館の建て替えについて聞く。

**答** あと9年で、耐用年数の60年を迎えるという事で、今後においては、県立図書館等の専門家や他の図書館に関する組織づくりを検討し、皆様に快適にご利用いただける図書館づくりに努める。

**問** 図書館の資料費について聞く。

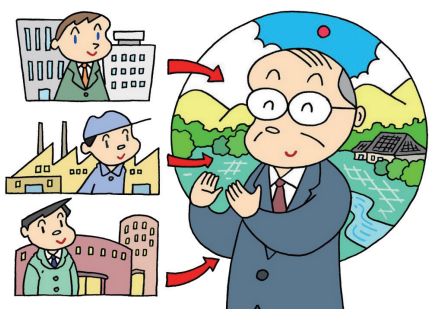
**答** 国の基準は840万円に対し、本市の予算は440万円となっており、本市の図書館の資料スペースの狭さから北庁舎の教育研究所に移動せざるを得ない現状である。高知県立図書館等との連携による資料の貸し借りを行うことで対応していく。資料数は、市民の文化向上や生涯学習の推進にも関わってくる重要な問題であるので資料の充実に努めていく。

澤山保太郎 議員

☆企業立地促進事業費補助金について

**問** 3千万・2千万という補助金を企業に渡しているのか。要綱の中には、銀行の融資を受けられるような企業だと書いており、補助金というのは公益性がなければ民間に補助金を渡せないが、公益性があるのか聞く。

**答** この補助金は、地域経済の活性化並びに雇用機会の創出、拡大を図ることである。その点で一定の成果が出ている。



**問** 雇用契約書を見ると悲惨な状況である。雇用契約を一切徴取していないのもあ

り、契約日や就業開始の期日のないものもある。また、この補助事業の1年前の雇用というものもある。雇用保険に入っていないものもあり社会保険はほとんど入っていない。また雇用も大半がパートで時間給である。これで雇用の確保といえるのか聞く。

**答** 雇用の確認方法は、雇用契約書や雇用保険などの書類で確認し、必要に応じて現地調査を行い、確認している。

☆**創業・事業承継支援補助金について**

**問** 当時現職の議員で監査委員であった者に、この補助金132万円余りを支給している。ヘアサロンだから美容師の資格がないといけないのに家族が美容院を開いている。家族がやるのであれば、その人の名義で補助金申請をしてもらうべきだ。前議員は資格があるのか聞く。

**答** 現職の議員に補助金を交付することの違法性はない。補助金申請者が事業主となつて、営業に必要な資格を持った従業員を雇用しておれば問題はない。

☆**庁舎移転問題について**

**問** 市長は、市民説明会の会場で「若者が戻ってきたり移住者が増えるために、立派な建物を建てないかん」と言っている。また、別の会場では市民に向かって、「ぜいたくな建物と思うでしょう、私もそう思います。若者たちが戻ってきたりするためにはPRのために立派な建物を建てないかん」と言っている。議事録にも載っている。どういうことか聞く。

**答** 豪華な庁舎を建てるとの思いは全くない。津波の来ない場所に庁舎が整備されていると若者や移住者などIターンやUターンに効果的に働くとの考えを申し上げた。



☆**国交省のガイドラインについて**

**問** 国交省の「災害に強い官公庁施設づくりガイドライン」では、津波浸水地域でも、重要機器類や書類を上

の階にあげるとか、また浸水を防ぐ防壁等をつくる対策が示されているが、ガイドラインどおりの対応で良いのではないか聞く。

**答** 本庁舎の状況は最大で3m浸水が予測され、1階部分などでは浸水、がれきの流入が予想される。そのような場合執務室や機器類が浸水しないところにあつても迅速な災害対策が取れないことが懸念される。庁舎が津波浸水外にあることが望ましいと思う。

**問** 南海地震対策について地震の震源である活断層は室戸周辺ではどこにあるのか聞く。

**答** 本市にも活断層がいくつかある。行当岬断層、羽根北東、吉良川断層、盲道谷断層、西寺断層、羽根断層などがある。

**竹中真智子 議員**

☆**市長の政治姿勢について**

**問** 新型コロナウイルス感染症について、罹患後、後遺症に苦しむ市民に室戸市独

自の救済の方法がとれないのか聞く。

**答** 国や県にも制度がなく、市独自で救済方法を設立するのは難しい。

**問** 市民館長配置について、職員配置は、いつまでに見直され、元の専任館長の配置になるのか聞く。

**答** 必要な職員数を確保し、来年度当初には専任館長を配置できるよう努める。

**問** 羽根昭和保育所について、同和対策事業で建てられたこの保育所が、まだ決定ではないが高台移転したら、同和保育は最低限今やつていえるようにできるのか聞く。

**答** 保育所が移転する事となつても、人権保育の趣旨が変わるものではない。地域に根ざし、地域に愛される保育所となるよう保護者、地域、学校等関係機関と連携を図り保育士が人権感覚を高め、人権保育を推進していく役割を担う立場を自覚し、資質の向上に努め子どもの人権を尊重した保育を推進していく。



**問** 女性消防職員について、昨年4人の女性が受験した女性職員を採用、育成していくことできるのか。今の施設整備で改善しなくても使えるのか聞く。

**答** 女性職員を採用する事を想定し施設、設備面の整備を検討し進めていく。採用試験の方法や採点基準は、他の消防本部の試験方法等参考に優秀な職員の確保に努める。

**問** 市庁舎建設事業基金について、3年間積み立て9億円になるが、建設・建築・土木関係等の業種に話を聞いた。仕事が減り疲弊している。これらの業種は台風・集中豪雨・地震災害等の際、現場で災害復旧活動に協力いただく職種の人達である。公共事業等削りやすいところから取り、自分がやりたい、したいところへ金を使っているように感じる。市民が受けるべき市民サービスが消えている。この現状をどう見ているのか聞く。

**答** 公共事業に影響がでているとは思っていない。市内には建設業をはじめ、建設関連産業に多くの人が従事している。地域経済への波及効果や地域雇用確保の観

点から、今後積極的に事業量の確保に努め、ふるさと納税分の余力もあるので公共事業の活用につなげていきたい。



**問** 小中学校の統廃合について、学校適正規模・適正配置等計画に反対意見も複数ある中で、本年10月に決定を急ぐ理由は何か聞く。

**答** 令和8年より統合中学校で開校する計画であったが、2年遅れている。南海トラフ地震から子ども達の生命を守る観点、今まで以上に生徒の力を伸ばす教育環境を整え、全ての地区が関わった学校づくりをするため令和10年度に1つになる計画である。

**問** 室戸中学校のみ高台移転させた場合と、4中学校を統合させた場合と国庫補助金や交付金措置の割合はどの程度変わるのか、市の負担はどの程度変わるのか聞く。

**答** 統合・新設の場合、室戸中学校のみ高台移転となっても事業名は違うが、国1/2の負担となる。統合中学校新設の場合は、室戸中学校のみ高台移転した場合より3クラス多い見込み。この3クラス分の市の実質負担額は、3千万円程度増えると想定している。

**脇本 健樹 議員**

☆観光施策について

**問** 室戸市に「らんまん」の経済効果はあったのか聞く。

**答** 4月から8月の観光施設を昨年と比較したところ、「らんまん」による利用者の増加にはつながっていない。

**問** 朝ドラに絡めた企画で、何を行ったか聞く。

**答** 昨年度高知県への補助金を活用し、受け入れ整備として、郷地区での草花等の散策コース整備や体験の受入体制整備、室戸岬での案内看板の整備を行い、案内機能の強化として、ガイドの養成を行った。今年度の取り組みとして、鯨館におい

て牧野博士と室戸のSDGsに関する企画展を開催した。東部観光協議会の事業で東部地域の宿泊施設で宿泊された方にクーポンを配布する事業を行い、県東部への集客を図っている。

状況や規模を把握する際、人による立ち入り困難な現場において活用している。消防本部では、火災調査や捜索活動等であり、これまでに火災調査11件、行方不明者捜索1件の活動実績がある。



**問** 「らんまん」終了後の取り組みについて聞く。

**答** 室戸市の魅力を向上させるためのジオツーリズムやウェルネスツーリズムの視点に立った長期的な取り組みに加え、「らんまん」を好機ととらえた高知県の取り組みにもアンテナを張り、連携した取り組みを行っていく。またジオパークセンターで植物等に関する企画展示を12月から実施する予定である。

☆ドローンの利活用について

**問** 何課に導入しているのか。

**答** 建設土木課に重量約3kgが1機、消防本部に重量約1kgと約600gの2機が導入されている。

**問** ドローンの利用用途を聞く。

**答** 建設土木課では、林道や山腹の崩壊、漁港の外郭施設などの災害発生時に被害

**問** ドローンを新しいツールとしての考えはないか聞く。

**答** 観光ジオパーク推進課ではドローンを使った動画について、撮影の技術等の問題から、広告業者等による動画を活用している。近年機器の単価も下がってきているので、今後は地域おこし協力隊の情報発信業務を担当する職員に、技術を習得して頂き、SNS等の手軽な情報発信から取り組んで行きたい。防災対策課では、災害発生時には国道が長期にわたり通行できない可能性もあり、孤立した被災地への物資の輸送等で役立つものと考えている。物資の輸送だけでなく、被災地の状況把握、要救助者の捜索等で活用が期待できるものと認識しており、早期

の導入やその利活用について検討していく。

**問** 農業用補助事業を聞く。

**答** 人手不足が課題の農業分野において、効率的に病害虫の駆除や肥料の散布ができる機器として、県内でも導入が進んでいる。県の制度で「高知県スマート農業推進事業費補助金」がある。補助対象者は、個人経営を含む農業経営体、農業生産組織などである。

☆災害対策について

**問** 避難施設の空調設備について聞く。

**答** 避難者が少人数の場合は、会議室等を使用するため一定の整備はできているが、避難者が大人数の場合の大ホールなどについては未整備である。

**問** 予備電源の状況を聞く。

**答** 保健福祉センターのみが自家発電設備が備わっており、それ以外は未整備である。





# 委員長報告

## 総務文教委員会委員長報告（条例）

委員会開催日	令和5年9月15日
付託件数	3件
審査経過及び結果	下表のとおり

### ■議案第2号 室戸市一般職の職員の給与に関する条例及び室戸市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について

質疑内容	答弁内容	審査結果
質疑なし		原案可決

### ■議案第3号 室戸市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

質疑内容	答弁内容	審査結果
対象となる施設はどこにあるのか。	対象施設は、室戸小学校である。学校内の空き教室を低学年、高学年でそれぞれ1教室ずつ利用し、小学校の校庭を屋外の遊び場として使用している。	原案可決

### ■議案第5号 室戸市火災予防条例の一部改正について

質疑内容	答弁内容	審査結果
条例第11条第3項第2号の「キュービクル式のものにあっては、」を削除した理由は何か聞く。	キュービクル式に限らず、その他のものであっても同等の安全対策ができていることから、文言の削除を行った。	原案可決

## 総務文教委員会委員長報告（予算）

委員会開催日	令和5年9月15日
付託件数	1件
審査経過及び結果	下表のとおり

### ■議案名：議案第6号 令和5年度室戸市一般会計補正予算（第6号）について

審査結果：原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
総務課	歳入 19款 繰越金	繰越金は使いきれなかった場合は基金に積み立てるのか。もしくは国へ返還するのか。	6月及び9月補正にて一般財源として使用した。令和4年度決算剰余金の残額が約5,440万円となる。今後使用しきれなかった場合は、財政調整積立基金への積立が現実的であると考えている。
産業振興課	歳入 17-1-3-2 水産業振興費寄附金	寄附の経緯と寄附金額について聞く。	セントラルグループが室戸市の水産振興に活用してほしいということで、5月にチャリティーゴルフコンペを開催し、そこで集まった寄附金をいただいたものである。
	5-3-2-14 工事請負費	なぜ室戸市が工事をを行うのか聞く。	市の施設であること。 また、指定管理者との協定の中で、50万円を超える施設修繕等は市が行うと定めているためである。

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
財産管理課	7-5-2-10 修繕料	本会議では変更増による予算計上との説明であったが、間違いないか。	当初で2千万円の修繕料を予算化していたが、予算残額が約230万円であるため、今後半年で修繕料の不足が見込まれることから今回補正するものである。
まちづくり推進課	2-1-6-1 集落支援員報酬	集落支援員の採用基準として、市内・市外は関係ないのか聞く。	特に市内・市外は関係なく、集落の活性化に寄与するため支援員を配置している。
建設土木課	7-2-1 道路維持費	市道の舗装工事費は今回の補正予算に組まれているのか。	今回の補正予算の対象ではない。
税務課	2-2-2-12 法改正に伴うシステム改修他委託料	システム改修の内容と委託先は決まっているのか。	システム改修は、令和6年度から国の森林環境税が賦課されることに伴うものである。委託先については、100万円を超えるものは、指名審査委員会に諮って決定する。
市民課		質疑なし	
保健介護課	3-1-4-18 介護基盤整備等事業費補助金	事業内容について聞く。	地域密着型介護事業所グループホームびわの里の高台移転整備に係る補助金である。財源は県100%であるが、地域密着型介護事業所は市の指定事業所のため、一旦は市から歳出を行うことになる。
こども支援課	3-2-1-12 乳幼児医療システム改修委託料	システムの改修等の契約は随意契約で行うのか。	委託予定業者は、現在使用しているシステムの初期導入業者であり、保守委託を行っている。別の業者に改修を委託した場合、最初からシステム自体のやり替えとなることから、現在の業者と随意契約を行う予定である。
	3-2-1-19 乳幼児等医療助成費	今回補正を行う助成費は、いつからいつまでの期間の分か聞く。	1月診療分のみである。2月診療分以降は2か月遅れで請求されるため、令和6年度当初予算での支払いとなる。
防災対策課	7-5-1-18 住宅耐震改修工事費補助金	事業内容について聞く。	耐震診断、耐震改修設計、耐震改修工事の3つに分類される。補助率は、耐震診断は無料、耐震設計は上限30万円、耐震工事が上限130万円である。なお耐震工事については、令和6年度を目途に、上限額の引き上げを検討している。
	7-5-1-18 負担金補助及び交付金	国や県からの補助率について聞く。	ブロック塀等については、国・県・市それぞれ3分の1。耐震改修設計は、県4分の3、市4分の1。耐震改修工事は、100万円までが、国2分の1、県・市それぞれ4分の1。100万円以上では、県・市それぞれ2分の1の上乗せとなる。
学校教育課	9-1-3-12 ICT支援業務委託料	委託内容について聞く。	GIGAスクール構想によりタブレットを使用した教育が始まっているが、教員の技術が追いついていないため、ICT支援員を週に1回、民間会社から派遣いただく予算である。タブレットを使用し教育内容の提案などの教員への助言が主な内容である。

# 委員長報告

## 産業厚生委員会委員長報告（条例・その他）

委員会開催日	令和5年9月15日
付託件数	3件
審査経過及び結果	下表のとおり

### ■議案第4号 室戸市福祉医療費助成に関する条例の一部改正について

質疑内容	答弁内容	審査結果
15歳から18歳に改めることによって、対象人数は何人になるのか。 また、金額はいくらか。	対象人数は約160人。金額については、年間ベースで約400万円を見込んでいる。	原案可決
市外在住者への対応と国の補助はどの程度となるのか。	市外在住者へのPRとしては、市の広報とホームページ等で周知する。国庫補助金はない。	

### ■議案第9号 高知県広域食肉センター事務組合の解散について

質疑内容	答弁内容	審査結果
食肉センターの建物は取り壊しをするのか。	建物は既に解体をしており、現在は職員や業者の駐車場として整備している。	原案可決
新食肉センターは、豚の解体がないと聞いたが、なぜ牛だけにしたのか。	県内に2つの食肉センターがあるとさびわけが必要になるため、高知市の食肉センターは県内全体の赤牛の振興もあり牛に特化している。四万十市の食肉センターは豚の生産地が多いので豚に特化して行っている。	

### ■議案第10号 高知県広域食肉センター事務組合の解散に伴う事務承継について

質疑内容	答弁内容	審査結果
事務は高知市が他の市町村の部分も全て行うのか。	事務組合が解散するので、解散後の事務を行う。	原案可決

## 産業厚生委員会委員長報告（予算）

委員会開催日	令和5年9月15日
付託件数	2件
審査経過及び結果	下表のとおり

### ■議案名：議案第7号 令和5年度室戸市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について 審査結果：原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
市民課	(歳出) 1.1.1 共済費	互助会の負担金は何人分であるのか。	4人分である。

■議案名：議案第8号 令和5年度室戸市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について  
 審査結果：原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
保健介護課	(歳入) 7.2.1 介護給付費準備金繰入金	繰入金で1億強の結構な金額だが、毎年度同額であるのか。	繰入するかどうかは年度末に黒字になるか赤字になるかで決まってくる。昨年度は積み立てている。黒字の場合は基金に積立、赤字の場合は繰入を行っている。
	(歳出) 5.1.3 償還金利子及び割引料	県負担金返還金、国庫負担金返還金、支払基金交付金返還金はどういう風に計算されているのか。	年度当初の概算交付で申請額が決定され、翌年度に実績報告を行い、その差し引き分で返還や追加交付となる。

## 総務文教委員会委員長報告（管内視察）

視察日	令和5年7月11日、7月12日
視察施設数	13件
事務調査結果	下表のとおり

所管課	施設名	質疑内容	答弁内容
消防本部	椎名コミュニティセンター	どのような事業を行うための施設か。	消防分団屯所としての機能のほか、広間や備蓄倉庫も完備している。 施設は14.5mの高さに建設予定であり、津波浸水区域外となるため、避難所としての機能も有する。
		土地の所有者は何名いるのか。また、工事のスケジュールについて聞く。	用地は2筆で、地権者も2名である。 土地の売買契約は、基本的な合意を得ており、秋から冬にかけて造成工事を着工する予定である。 工期は、年度内完成が難しい可能性が高く、繰越対応も検討している。
人権啓発課	佐喜浜市民館	駐車場の入口が狭い。国道側から進入できる十分なスペースを確保できないのか聞く。	西隣にある市民館駐車場の柵を一部撤去等できないか館長と協議中である。
財産管理課	室津川団地	以前入居していた方は何世帯入居するのか。 また、空き部屋があった場合は、募集を行うのか。	以前の団地に入居していた5世帯が新たな団地へ入居予定である。 残りの部屋については、今後住宅の集約化や新たな入居者の公募を検討していくことになる。
総務課	室戸岬出張所	出張所南側にある住宅は、公民館敷地内へ建設しているのか。	公民館の一室を出張所としているので、公民館の敷地の範囲については、総務課では把握していない。

## 委員長報告

所管課	施設名	質疑内容	答弁内容
生涯学習課	菜生教育集会所	今後も教育集会所を使用する予定はないのか。また使用しない場合は、解体するのか。	現在のところ使用する予定はない。 解体については、劣化の度合いが激しいものなど優先順位をつけて行っていく。
		年間の維持管理費について聞く。	光熱水費が発生しているのは、現在使用されている明神川教育集会所等のみである。
まちづくり推進課	あおぞらだんち	8区画中1区画がまだ残っている。完売に向けてどのように取り組んでいくのか聞く。	庁内で協議を行い、新聞折り込み等に取り組み早期に完売できるよう努める。
学校教育課	羽根小学校	地震発生後の避難手順について聞く。	地震発生時は身の安全を確保する。 揺れがおさまったら校門に集合し、点呼確認を行ってから一時避難場所に向かうようにしている。
	室戸中学校	山や高台へ避難する途中で津波に襲われる可能性があると思う。校舎の屋上で津波がおさまるまで待機できないのか。	当初は耐震改修工事を行い、屋上へ避難する計画であった。しかし、校舎の耐浪調査で津波による横すべりや転倒の危険性があることがわかり、現在は、山や高台等の校舎以外の場所に避難を行うようにしている。
	佐喜浜小学校	津波の想定浸水高と、避難場所はどこになっているのか。	浸水高は2～3mである。小学校の避難場所は海抜24.7mのお寺近くの広場である。
	佐喜浜中学校	海岸沿いの学校は基本的に屋上に逃げて良いと考えるがどうか。	津波避難については、第1は高台や山へ逃げることを優先し、万が一間に合わない時は避難タワー等に緊急的に逃げるという考えである。 高台や山へ避難すれば、さらに上へ逃げるができるため、まずは山等へ逃げることにしている。
防災対策課	吉良川西灘津波避難路	山手線を避難経路として整備を行う計画はないのか聞く。	担当課とも協議しながら、検討していく。
	浮津西町津波避難タワー	収容人数が140名との説明であったが、収容人数はどのように決めたのか聞く。	収容人数については、世帯数を考慮した。 また、高台の避難場所に逃げ遅れた方も対象としている。
		今後浮津下町などの中心部に、津波避難タワーの建設計画はあるのか聞く。	現時点での計画はない。
吉良川西灘津波避難タワー	質疑なし※		

※防災対策課所管の吉良川西灘津波避難タワーについて、「現在の場所では、海へ向かって逃げることになるので、旧国道北側に建設を希望する住民意見もあったが、適地がなかったため、希望地でなくても避難タワーが建設された方が望ましいということで現在地への建設に賛成したという経緯は記憶しておいてもらいたい」との意見あり。



産業厚生委員会委員長報告（管内視察）

視 察 日	令和5年7月6日
視 察 施 設 数	9件
事 務 調 査 結 果	下表のとおり

所管課	施設名	質疑内容	答弁内容
保健介護課	子育て世代 包括支援センター 「むろとっこ」	あき総合病院との連携は、 月何回か。 また、どういったことを 行っているのか。	2カ月に1回。現在はWebにてあき総合病院の助産師、安芸福祉保健所の母子担当、市の保健介護課の看護師・保健師が参加している。 あき総合病院に通院している方の状況を情報共有している。
		スタッフを充実させるにあたり、市長部局と話し合いをしているのか。	総務課や市長に要望し、保健師の募集をかけている。
健康医療政策課	室戸市立診療所	今後も5,700万円や6,000万円の赤字が続いていくと、市の財政状況で事業継続していくのは厳しくなるが、対応や対策について聞く。	室戸診療所については、建設前から一定の赤字額が出るものとして、説明を行ってきた。そのうえで、議会からも賛同を頂き、整備したものと考えている。 将来的には、本市の民間医療機関も医師の高齢化等によりなくなっていくことも予測されるため、市民の健康を支える医療機関として継続していけるよう、患者数の増等に取り組み、赤字額の縮小、収支の改善に努めていく。
観光推進課	室戸海洋深層水体験交流センター	コロナ禍でも酷い落ち込みをしていないのは、固定客で回っていると認識している。保健介護課と取り組む健康増進施設という大メインの趣旨があることから広報等の宣伝もしているが、集客を増やすためのワンランク上の施策は。	新規利用者を増やす施策に取り組みたい。現在年会費の無料やSNSをフォローしたら割引する。 また、8月の夏休み期間中は子ども料金を100円にし、大人の誘客に繋げたいと考えている。 宿泊事業者には、宿泊客に施設の割引券の配布を行っていただいている。
		市民が利用することが大事であり、集客を考えたら利用料金の減額と送迎のバスの2つを考えていかなければならないと思うが、検討する考えはないのか。	マイクロバスの購入については、指定管理期間の都合等からマイクロバスの購入やレンタルが不可であったため、小さいワンボックスの購入に留めた。コミュニティバスを走らせたり、公共交通の連携を進めていきたい。金額については、全国にある深層水を使った水中運動施設の中では安価である。一步目を踏み出してもらうためにも無料券の配布などについて考えていきたい。
	むろと海の学校	取水口の完成はいつになるのか。	まだ執行中であり、確定していない。 今年度中に工事の積算を終わらせ、できれば12月補正予算に計上したい。

# 委員長報告

所管課	施設名	質疑内容	答弁内容
こども支援課	室戸市立大谷保育所	質疑なし	
建設土木課	大平線東ノ川橋	東ノ川橋の完成までのタイムスケジュールと金額を聞く。	今年度の未施工分の仮橋と仮設道路が2億4,000万円。6年度、旧橋の撤去に約8,000万円。7年度は下部工と上部工製作で約1億円。8年度、上部工の据え付けで約1億円。9年度で仮橋の撤去と取り合わせ基盤と水道の補修関係で約5,000万円。令和10年度に下の内橋の撤去で約3,000万円である。
		2本の橋が1本に集約されることで住民の方からの意見はあったと思うが、状況を聞きたい。	橋の撤去に関する反対意見はなく、1つになる橋の位置関係についての意見があり、現位置での架け替えになった。
	佐喜浜本線佐喜浜橋	10億円の事業費のうち、市費が数億円というが国民の借金になっていく。市費が少ないからといって事業費10億円もの橋が必要なのか再度話し合ってはどうか。	市長と協議をする。
産業振興課	花まるひろば	1,791万5千円の雇用分の説明を聞く。	正職員3名、パート1名を雇用している。補助金の要件は、正職員1名に対して1,000万円。パート職員1名で500万円となっているので要件を満たしている。
	株式会社仙頭車輛	質疑なし	



閉会中の主な議会活動

- |       |   |       |   |
|-------|---|-------|---|
| 7月5日  | 執行部とともに、議長が国土交通省四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所に陳情  | 7月21日 | 産業厚生委員会開催   |
| 7月6日  | 第73回社会を明るくする運動推進委員会に議長が出席   | 7月25日 | 総務文教委員会開催   |
| 7月6日  | 執行部とともに、議長が高知県に陳情   | 7月26日 | 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟による四国地方整備局への要望活動に議長出席         |
| 7月6日  | 産業厚生委員会管内視察<br>～7日  | 7月27日 | 市町村議会議員研修に5名の議員が出席                                  |
| 7月9日  | 第73回芸東消防連合会総合訓練大会に正副議長及び関係議員が出席   | 8月1日  | 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟による関係省庁及び、地元選出国會議員への要望活動に議長出席 |
| 7月10日 | 議会運営委員会開催   | 8月1日  | 産業厚生委員会開催   |
| 7月11日 | 部落差別をなくする運動協調週間街頭啓発パレードに1名の議員が出席  | 8月7日  | 産業厚生委員会開催   |
| 7月11日 | 総務文教委員会管内視察<br>～12日   | 8月17日 | 総務文教委員会開催   |
| 7月13日 | 部落差別をなくする運動協調週間記念講演会に3名の議員が出席   | 8月18日 | 産業厚生委員会開催   |
| 7月14日 | 一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会総会及び高知東部自動車道整備促進期成同盟会総会並びに国道493号整備促進期成同盟会総会、道路整備に関する勉強会に議長出席 | 8月24日 | 第143回高知県市議会議長会臨時総会に正副議長が出席                          |
| 7月18日 | ごめん・なはり線 活性化協議会総会及び安芸広域市町村圏事務組合議会定例会に議長出席   | 8月28日 | AMA地域連携推進協議会総会に議長出席                                 |
|       |   | 8月31日 | 総務文教委員開催  |
|       |   | 9月5日  | 議会運営委員会開催   |



定例会の傍聴にお忙しくて  
来られない市民の皆様へ

行政の動きがご理解頂けるように編集委員一同、「簡明で判り易い紙面に！」の思いを込めて議会だよりを編集いたしました。

市民が安心して暮らせる郷土を目指し議員一同、より一層の努力をしておりますので、今後共ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

〈編集委員一同〉

議会の傍聴に  
おいでください。

次の議会定例会は  
12月上旬です。

議会事務局 ☎ 22-5140

